

平成17年7月4日

## 発電所構内における非放射性の水の漏えいについて

平成17年7月3日午前8時頃、発電所構内にある水処理建屋<sup>\*1</sup>の温水槽循環ライン<sup>\*2</sup>から非放射性の水（純水）が約2.1m<sup>3</sup>漏れていることを協力企業作業員が発見いたしました。なお、協力企業作業員が温水ポンプを直ちに停止し、漏えいは停止いたしました。

調査の結果、当該ラインの配管フランジ部<sup>\*3</sup>4箇所のうち1箇所のパッキンが硬化し、破損していることが確認されました。

対策として、破損していたパッキンを新品に交換し、温水ポンプを運転して漏えいのないことを確認いたしました。

また、今後、パッキンの材質や交換頻度について検討することとします。

以上

\*1：水処理建屋

ろ過した水を精製してプラントで使用する純水を作るための建物。

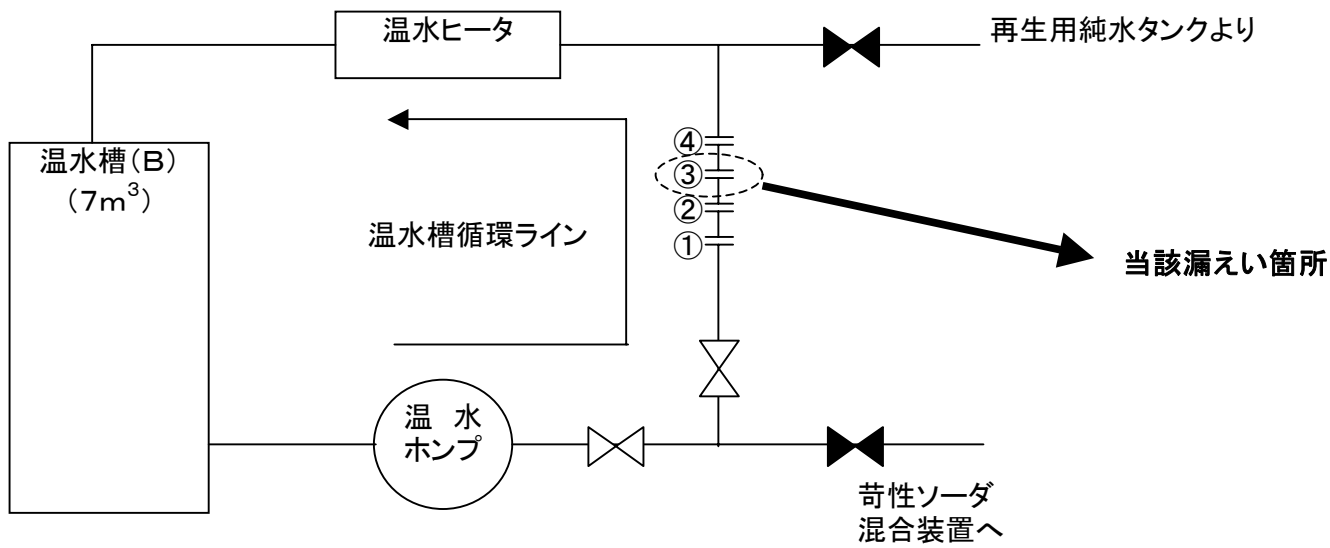
\*2：温水槽循環ライン

苛性ソーダ（水酸化ナトリウム溶液）に混合する水を温めるため、温水ポンプからヒーターへ水を循環させるライン。

\*3：配管フランジ部

配管と配管の接続部。

これは「当社原子力発電所における不適合事象の公表方法の見直しについて」（平成15年11月10日お知らせ済み）における区分Ⅲの事象として、前日に発生した不適合事象を公表しているものです。



純水漏えいの概要図